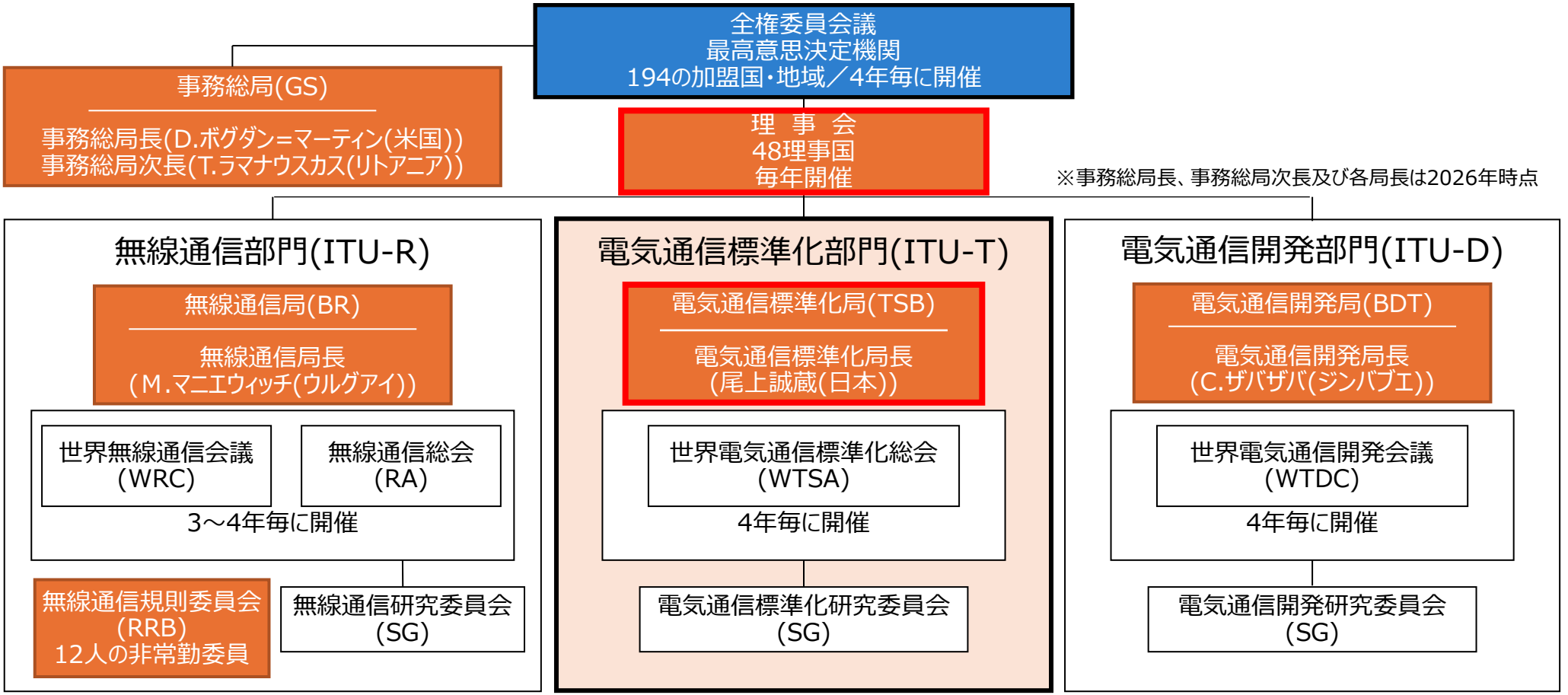
国際電気通信連合（ITU）の概要

（別紙）

■電気通信に関する国際連合の専門機関(ITU：International Telecommunication Union)
■1865年に万国電信連合として発足した、**世界で最も古い国際機関**（我が国は1879年に加盟）
■主要任務は、**①国際的な周波数の分配、②電気通信の標準化、③途上国に対する電気通信の開発支援**
■本部：スイス・ジュネーブ　**194の国・地域が加盟**
■日本は**1959年以来、理事国(48か国)を務める**
■日本は米国に次ぐ上位2番目の分担金拠出国(30単位(954万スイスフラン))
■旧郵政省出身の内海善雄氏が1999年から2006年まで事務総局長を務めた
■**NTT出身の尾上誠蔵氏が2023年から電気通信標準化局長**を務めている



ITU全権委員会議について

ITU

○ 電気通信に関する国連の専門機関(国際電気通信連合(ITU：International Telecommunication Union))
(本部：スイス・ジュネーブ、194の国・地域と1,000を超える民間機関で構成)

○ 主要任務は、①国際的な周波数の分配、②電気通信の標準化、③開発途上国に対する支援。

全権委員会議

○ 4年に1度開催。ITUの全構成国の代表が参加するITUの最高意思決定機関。

○ 憲章・条約等の改正、事務総局長を始めとする幹部職員等及び理事国の選挙が行われるほか、2028年から4年間のITUの活動方針(戦略計画)、予算の枠組(財政計画) 等について審議。

開催時期及び場所

○ 2026年11月9日から27日まで

○ ドーハ（カタール）

主要議題

1．ITU憲章・条約等の改正

2．ITU幹部職員等(※)及び理事国選挙

我が国は、理事国選挙に再選立候補するとともに、電気通信標準化局長選挙に、現職の尾上誠蔵ITU電気通信標準化局長を擁立

3．2028年-2031年戦略・財政計画

4．ITUの活動に関する諸課題

※ITU幹部職員等：事務総局長、事務総局次長、無線通信局長、電気通信標準化局長、電気通信開発局長、無線通信規則委員会(RRB: Radio Regulations Board)委員

尾上 誠蔵　ITU電気通信標準化局長　略歴



ふりがな	おのえ　　せいぞう
氏　名	尾上　　誠蔵
生年月日	1957年5月12日
職　歴	1982年　日本電信電話公社(現NTT)入社 2012年　株式会社NTTドコモ　取締役常務執行役員CTO（Chief Technology Officer) 2017年　ドコモ・テクノロジ株式会社 代表取締役社長 2021年　日本電信電話株式会社　CSSO（Chief Standardization Strategy Officer) 2023年　国際電気通信連合 (ITU) 電気通信標準化局長**【現職】**
主な対外活動	【国際】2012年　GSMA, Member of the Board 2013-2021年 GSMA, Member of the Strategy Group 2012-2020年 Next Generation Mobile Networks Alliance, Member of the Board 【国内】2003-2005年 電波産業会　IMT-2000研究委員会 国際仕様部会 部会長 2006-2011年 電波産業会　高度無線通信研究委員会 IMT-Advanced部会 部会長 2011-2022年 電波産業会　規格会議　委員長 2011-2012年 電子情報通信学会　通信ソサイエティ 副会長・国際委員長
表彰経歴	2014年　文部科学省 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞 (開発部門) 2018年　紫綬褒章 2025年　IEEE Jagadish Chandra Bose Medal in Wireless Communications